図－10　2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計1，308箇所について超音波検査（肉厚測定）等を実施する。
＜超音波検査（肉厚測定）：1，297箇所、内面目視点検：11箇所＞

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回定期検査開始時点での未点検部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,429	0	435
その他部位	2,050	0	862
合計	3,479	0	1,297

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検

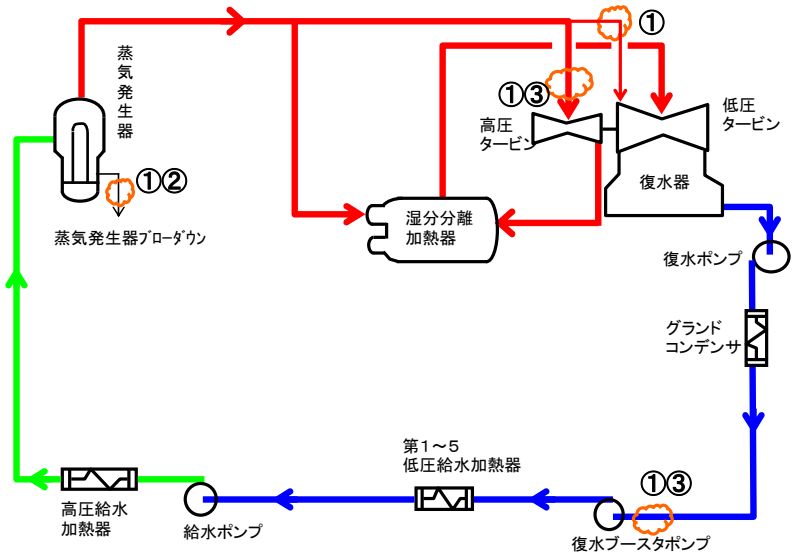
高圧排気管の直管部11箇所について、配管内面から目視点検を実施する。
その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査（肉厚測定）を実施する。

取替概要

過去の点検で減肉が確認された部位29箇所、配管取替の作業性を考慮した部位31箇所、配管の保守性を考慮した部位99箇所、合計159箇所を同種材（炭素鋼）または、耐食性に優れたステンレス鋼、低合金鋼の配管に取り替える。

【凡例】
- ：主蒸気系統
- ：給水系統
- ：復水系統
- ：主な配管取替箇所

系統別概要図



【取替理由】

① 過去の点検結果で減肉が認められているため計画的に取り替える箇所（２９箇所）
- 必要最小厚さとなるまでの期間が１０年未満の箇所（２８箇所）
  - 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　２７箇所
  - 炭素鋼 ⇒ 同種材　１箇所
- 必要最小厚さとなるまでの期間が１０年以上の箇所（１箇所）
  - 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　１箇所

② 配管取替の作業性＊1を考慮して取替える箇所（３１箇所）
- 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　２９箇所
- 炭素鋼 ⇒ 同種材　２箇所

③ 配管の保守性＊2を考慮して取り替える箇所（９９箇所）
- 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　７２箇所
- 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼　２７箇所

合計１５９箇所

＊１ 配管取替時に近傍の配管も一緒に取替えた方が作業がし易いため取替える。
＊２ 狭隘部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替える。